

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
施設の名称	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館	指定管理者	高畠町
所在地	山形県東置賜郡高畠町安久津2117番地	県担当課 (電話番号)	観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課 博物館・文化財保存活用室 (023－630－2880)
指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
検証期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日		

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証		
1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況				
① 管理・運營業務の履行状況	仕様書及び事業計画書の内容を遵守して履行した。 ●普及啓発活動 ①県内市町村の教育機関に「催し物案内」やその都度印刷する各種事業案内チラシを送付して情報提供に努めた。また、展覧会等は全国の関連機関に情報提供を行い、ホームページでも随時情報を更新し公開した。 ②各種体験学習や講座、研修会を開催。今年度も参加制限などを設けずに各種事業を実施したが、入館者数は、コロナ後に徐々に増加し令和5年度に7,293人まで回復していたが、令和6年度は6,257人と1,000人以上減少し、令和7年度もさらに減少し、6,128人に留まった。 ●施設・設備等の管理 点検・修繕を適切に行うとともに、これまで同様節電に取り組んだ。長年に渡り懸案であった常設展示室、企画展示室の照明施設が更新され、老朽化による設備更新は一段落した。 ●資料の収集、保管及び展示に関する業務 ①特別テーマ展「遊佐町の考古学Ⅱ」、企画展「縄文時代草創期の石器工房-日向洞窟遺跡西地区-」を開催した。展示遺跡の調査成果や展示資料についての解説を展示室壁面にパネルで展示するなど、わかりやすい展示を心がけた。また、それぞれの展示図録も刊行した。他に2024「第5回kid's考古学新聞」の入賞作品の全国巡回展も開催した全国各地の小学生の作品等19点のパネルを展示した。 ②当館の長年の課題であった収蔵品台帳の整備を継続しているが、今年度も加藤稔寄贈予定資料の台帳化を図ったが、他の業務との関連で一部に留まった。また、収蔵室は日常的に温湿度の記録を行い、除湿器やサーキュレーターを活用し保管環境の改善に努めている。空調設備の更新後も記録作成は継続して実施している。特に湿度が増加した場合には空調施設を稼働する前に、除湿機を稼働することになっているが、この方法は節電にも効果があると認められた。	評 価	≪評価の理由≫ ・仕様書や事業計画書に沿って、適切に管理及び運營業務が履行されている。 ・入館者数は前年度から若干減少しているものの、企画展や自主事業に加え、全国巡回展を開催するとともに、情報発信の充実に向けた取組みも進めている。 ・専門的な知見やこれまで蓄積してきたノウハウを活かし、日常の温湿度管理や設備の効果的な運用等による資料の適切な保管に努めている。また、収蔵品台帳の整備にも継続して取り組んでいる。 ・経費節減、節電に努め、環境に配慮した管理・運営がなされている。	
	② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）	展示解説を動画で行うため、館内にWiFi環境を整備していただいたい。	B	≪課題等の原因分析≫ 企画展の展示解説動画の配信にも取り組み、スマートフォン等で閲覧できるようにしているが、WiFi環境がないため利用者からは整備を望む声が上がっている。
	課題、問題点への今後の対応	開館から30年以上が経過し、施設の老朽化や経年劣化による設備の不具合も顕在化してきているため、今後も優先度を考慮しながら計画的な修繕及び施設整備に努めていく。		
2 利用者からの要望等への対応				
① 意見・要望等及びその対応状況	●館内にアンケートボックスを設置し、来館者の意見を聞いている。展示についてはおおむね好評であるが、ホームページ上で発信している展示品解説を展示室で見聞きたいので館内にWiFi環境を整備して欲しいとの要望が今年も多かった。できるだけ早い機会での整備をお願いしたい。	評 価	≪評価の理由≫	
	意見・要望等への今後の対応	今後も継続的なアンケートの実施により利用者の意見やニーズを把握し、施設の管理運営への反映に努めていく。	B	アンケート調査の実施により、利用者の要望・意見の把握に努め、利用環境の改善に活かしている。
3 指定管理者制度活用の効果				
① サービスの向上	●コロナ禍で参加人数を制限してきた各種体験学習や講座は令和5年度に撤廃したが参加者増には結びついていない。また、一時増加した県内の特に庄内地域の小学校の修学旅行による来館は激減した。町内外の学校・幼稚園・保育園や社会教育施設での体験を含めて出前講座を積極的に展開していく必要があると考える。入館者増に向け、Instagramの開設や各種講座のデジタルアーカイブ化に取り組み、情報発信に努めている。	評 価	≪評価の理由≫	
		B	幅広い世代が楽しめる体験学習等の充実に加え、ホームページ上で各種講座のデジタルアーカイブ化に取り組むほか、新たにSNSを開設するなど、サービスの向上に努めている。	
② 経費の節減	●これまでどおり、日頃から省エネ活動に努め、入館者の観覧中を除いて展示室は消灯している。このところの夏季の気温上昇に伴い、エアコンの稼働率が上昇しているが、来館者が見込めない冬期間の平日は暖房を切って、光熱費を削減する試みを続けている。	評 価	≪評価の理由≫	
		B	施設内の省エネルギー化の取組みを進め、経費の削減に努めている。	
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	●高畠町商工観光課・観光協会と高畠町の6施設が連携して令和6年度から開催している「たかはたぐるっとスタンプラリー」を、令和7年度は4～5月の大型連休を含む期間に開催。数回にわたる打ち合わせを行い、各施設合計で12,013人の入館者があった。令和8年度以降も継続して開催する予定であり、子供の集まる各施設の連携を強化した事業は地域活性化に結び付くものでもある。	評 価	≪評価の理由≫	
		B	他団体や近隣施設と連携して周辺の回遊性を高めるための取組みを展開し、賑わい創出に寄与するなど、地域活性化に貢献している。	
総合的な評価		・仕様書、包括協定書、年度協定書に基づき、施設の適切な管理運営が行われている。 ・企画展や自主事業の充実、SNSを活用した情報発信の実施等により、より魅力的な施設運営に努めている。 ・引き続き、地域の関係団体との連携をより深めながら、さらなる施設の利用促進や地域活性化に取り組んでいただきたい。		

【評価指標】

- A：仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B：概ね適正に実施されている。
- C：部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D：仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。